

「人権」ってなに

小学校五年

「人権作文を書こう」という宿題が出た。ぼくは、困った。そもそも「人権」ってどういうことか分らなかった。まず、ぼくは「人権」という言葉をタブレットで調べてみることにした。

調べてみると、「人権」について子どもでも分かるように簡単な言葉で書いてくれているものがあった。人権とは、人が人として、社会の中で自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利と書かれていた。ぼくは、自分の日頃の行動を振り返ってみることにした。

学校での行動はどうだろう。自分が言った言葉で、友達や周りの人を嫌な気持ちにさせたり、傷つけたりしていないだろうか。友達とじゃれ合ってエスカレートしてしまった時、ふざけている時、けんかになってしまった時、無意識のうちに嫌な言葉を言ってしまった。

家ではどうだろう。ぼくの家には、おじいちゃん

とおばあちゃんがいる。いろいろなところでぼくをサポートしてくれているおじいちゃんとおばあちゃん。でも、ぼくはやさしい言葉で話せていなかった。

改めて、自分の日常生活を振り返ると、周りの人が温かい気持ちになるやさしい言葉を使えていなかったことに気づいた。

人が人として自由に考え、行動することも大切だけれど、それをしたことで周りの人を傷つけてはいけけないと思った。社会のルールを守って、日頃からやさしい言葉を使えるように意識していきたい。そして、人を傷つける言葉を使ってしまった時、素直に謝ることができるようになりたい。

ぼくは、だれもが安心して過ごせるようにするために、温かい言葉づかいを意識するなど、自分できくことをしていきたい。「人権」という言葉は、おずかしいかもしれないけれど、すべての人が大切にされることだと考えて行動していきたい。